

特別養護老人ホーム平戸荘（平戸市）

事業所での課題認識

■導入の目的と導入前の状況

施設内ではスタッフの高齢化による身体的な負担や、忙しい時間帯に複数業務を並行して行う状況がありました。また求人に関しては、周辺地域で若者の流出が進んでいること、フルタイムを希望する人が少ない状況でした。人手を補いたいと思う仕事の場面が増えているものの、どのような求人をすればよいか具体化できず、方法に手詰まり感を覚えていました。

■プロジェクトを進める上での課題

近隣に若い世代が少ない中で、まずはゆとりある現場となるよう、未経験者や間接業務を担ってくれる人に向けたアプローチを考えることにしました。そのためには、経験のない人にどのような仕事をお願いしたいか、見定める必要がありました。一方で、未経験者を受け入れる場合、初期オリエンテーションや教育の方法など、受け入れる施設側の準備を考えることも必要でした。

実施内容・導入効果

未経験から平戸荘で働くイメージを求人に反映できるようにするため、すでに平戸荘で働いている異業種からの転職者へのヒアリングを行いました。未経験から働き始め、資格を取るまで成長した働きぶりを言語化しました。その経験談をもとに、平戸荘が未経験者に提示できる強み（研修・資格取得等への意識が高い施設であること、未経験者からのキャリアアップへの支援意識から理解とサポートが得やすいこと等）を抽出しました。それらをもとに「専門的な介護を支えるサポート人材」を募集するための求人チラシや、Uターン者・未経験者等の若者向けの広報素材をまとめました。

受入体制の面では、施設で作っている業務マニュアルを初任者向けに活用しきれていない状況があったため、雇用後の受け入れに向けて、マニュアル整理を行いました。洗濯業務をとりあげ、初任者が初日、1週間後、1か月後のように段階的に仕事を身に付けられるように整理を行いました。基準ができると、教える側のストレス軽減にもつながります。今後は、専門的な介護業務に関するマニュアルについても、未経験者が理解できるように整理することで、よりステップアップしやすい環境整備につながると考えられます。

■モデル事業実施内容

- ①多様な働き方を実現するための課題と魅力の整理
- ②施設の業務分析
（マニュアル、初任者対応の整理）
- ③求人チラシ、広報素材の制作

■施設担当者の声

- ・多様な働き方として、短時間で高齢者を雇用しました。いまは働いてもらいながら、どこを任せたらよいか、柔軟に考えています。
- ・業務の見直しの点で、取り組むことができよかったですと感じています。

■モデル施設の概要

- 特別養護老人ホーム
- 職員数 35名
- 利用者数 50名
- ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業所、グループホームなどを併設